



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2025 年 度

N o . 2 4

2025 年 9 月 1 9 日

日本鉄道労働組合連合会

2025 平和行動 i n 根室

北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の早期返還！
日 口 平 和 条 約 の 締 結 を ！

連合は、6月の沖縄、8月の広島・長崎における行動のほか、終戦後に旧ソ連・ロシアに不法占拠・実効支配された北方領土の返還を求める根室での行動を毎年9月に開催している。

2025 平和行動 i n 根室は、9月6日に北方四島学習会、翌7日に2025 平和ノサップ集会が開催され、J R 連合からは宮野勇馬企画局長、谷口昌隆組織・政治局長のほか、J R 北労組、J R 東海ユニオンの仲間が参加した。

北方四島学習会では、「海から見た北方領土問題」「ふるさと北方四島への想い」と題する講演を受けた。

納沙布岬・望郷の岬公園で開催された2025 平和ノサップ集会において挨拶した連合の清水秀行事務局長は、「元島民の方々の事を思うと残された時間は決して長くはない。北方四島の早期一括返還と日口平和条約の締結による真の平和の実現に向けて粘り強く取り組む」と決意を明らかにした。また、来賓として北海道北方領土対策本部長、根室市長らが出席し、感謝と連帯の言葉が述べられた。歯舞諸群島勇留島出身の元島民からは、故郷を思う切実な願いが訴えられた。

最後に、「北方領土問題が解決するその日まで、粘り強く運動を継続していく」ことを力強く宣言した集会アピールを採択し、参加者全員の決意が込められたガンバロウ三唱で2025 平和行動 i n 根室は幕を閉じた。

